

HiKOKI

取扱説明書

用途

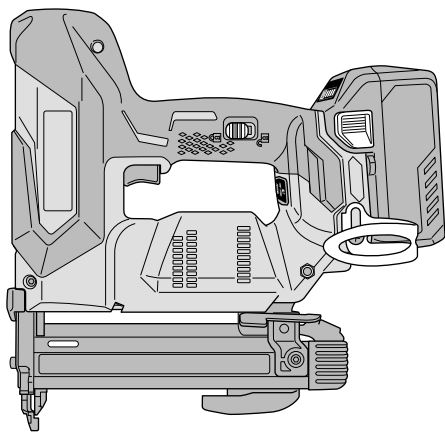
- 建築、新建材の固定、建築部材製造
- 吸音ボード、壁下石こうボード、化粧合板（プリント合板）、断熱材張り作業
- 家具の製造

コードレススタッカ

36 V N 3604DJ

36 V N 3610DJ

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意	9
各部の名称	11
仕様	12
標準付属品	13
別売部品	14

使い方

蓄電池の取りはずし・取付け	15
電池残量表示について	16
LED ライトの使い方	17
警告シグナルについて	18
フックの使い方	19
ベースについて	19
ノズキャップの使い方	20
スイッチのロック機構について	21
プッシュレバーの作動確認	21
ステープルの装てん	22
ステープルの打ち方	23
打ち込み深さの調整	24
空打ち防止機構について	24
ステープルの取扱い方	24
ステープルを打つ	25

その他

保守・点検	27
ご修理のときは	裏表紙

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② **蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ③ **蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れしないでください。**
発熱・発火・破裂の恐れがあります。
- ④ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - 工具本体や蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑤ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⚠警告

- ⑥ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。
- ⑦ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
 - 使用しない、または、準備・調整・点検・修理する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑧ **不用意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて連ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑨ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。
- ⑩ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**
破裂して、有害物質が出る恐れがあります。

⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、コードレス工具に触れさせないでください。
けがの原因になります。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

⚠️ 注意

- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
 - 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります
- ⑦ **無理な姿勢で作業をしないでください。**

常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。
- ⑧ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
 - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑨ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**

スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⚠️ 注意

⑩ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑪ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。

⑫ コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。

- サービスマン以外の方は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
- コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスタッカとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① **保護メガネを使用してください**
 - 作業中は保護メガネを使用してください。
 - 周りの人にも保護メガネをかけさせてください。
打ち損じのステーブルが飛散することがあります。
- ② **騒音から耳を保護するため、防音保護具を着用してください。**
- ③ **作業環境に応じてヘルメット、安全靴、防じんマスクなどの防具を着用してください。**
- ④ **蓄電池を取付ける前に、次の点検をしてください。**
 - ねじがゆるんでいないこと。
 - 損傷したり、はずれている部品がないこと。
 - さび付きなどで、正常に作動しない部品がないこと。
 - プッシュレバーを押し込んで上下させたととき、スムーズに動くこと。
 - 押し込んだプッシュレバーが元の位置に戻ること。
異常があるときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- ⑤ **蓄電池を取付けるときは、次のことに注意してください。**
 - プッシュレバーの先に触れたり、対象物に当てた状態にしない。
 - 射出口を人体に向けない。
誤ってステーブルが発射した場合、けがの原因になります。
- ⑥ **使用前に安全装置の点検をしてください。**

本製品は、射出口を打ち込み対象物に当て、さらにスイッチを引くか、スイッチを引き、射出口を打ち込み対象に当てないと、ステーブルが発射されない構造になっています。

ステーブルを装着する前に蓄電池を取付け、マガジンベースを開いて次の点検をしてください。

 - スwitchを引いただけで、モーターが作動しないこと。
 - プッシュレバーを打ち込み対象物に押し当てただけで、作動音がしないこと。
異常があるときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- ⑦ **人体に射出口を向けないでください。**

誤って発射した場合、思いがけないけがにつながります。

警告

- ⑧ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
 - 高所作業のときは、ステーブル打ち作業中に落ちることのないように十分足場の安全性を確認してください。
転倒や落下など、けがの原因になります。
- ⑨ 射出口付近に顔や手、足などの人体を近づけて作業しないでください。
誤ってステーブルが発射したり、はね返って飛んだときなど、けがの原因になります。
- ⑩ 作業する箇所に、内部配線やガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
- ⑪ 使用中は、機体を確実に保持してください。
- ⑫ ステーブルを打ち込む材料の裏側に、手や体を置かないでください。
ステーブルが突き抜けたり、材料が欠けたときなどに、けがの原因になります。
- ⑬ ステーブルを打たないときは、スイッチをロックして、スイッチに指を掛けないでください。
- スイッチに指を掛けて、持ち運びしたり、手渡しなどをしないでください。
 - ステーブルを装てんするときや調整などをするとき、スイッチに指を掛けないでください。
誤ってステーブルが発射する恐れがあります。
- ⑭ 次の場合は、スイッチをロックして、蓄電池を工具本体から抜いてください。
- 使用しない場合や作業中断時、修理する場合。
 - 準備・保守・点検・調整、ステーブル詰まりの直しなどの場合。
 - ステーブルを装てん・抜き取りする場合。
誤ってステーブルが発射する恐れがあります。
- ⑮ ステーブルを打つときは、射出口を確実に対象物に当ててください。
一度打ったステーブルの上に、再度ステーブルを打つことはしないでください。
ステーブルがはね返ったり、機体が反発することがあります。

⚠ 警告

- ⑩ 作業中は周りの人に注意してください。
- ステープルを連結している接着剤やテープの破片、打ち損じたステープルが当たる恐れがあります。
 - 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
機体や材料を落としたときなど、事故の原因になります。
- ⑪ 薄い板や木材の端にステープルを打たないでください。また、壁の両側から同時にステープル打ち作業をしないでください。
ステープルが突き抜けたり、ステープルがそれたりすることがあります。
- ⑫ 機体の反発に注意してください。
かたい所に打った場合、機体がはね返ることがあります。
- ⑬ 屋外での作業は、次のことに注意してください。
- 屋根などの斜面でステープルを打つときは、下から上に向かって前進しながら作業してください。
後退しながら作業すると、足を踏みはず恐れがあります。
 - 床などの水平面でステープルを打つときは、前進しながら作業してください。
後退しながら作業すると、足をとられることがあります。
 - 壁などの垂直面にステープルを打つときは、上から下へ作業してください。
- ⑭ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、蓄電池を取りはずして機体やステープルなどに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
また、次の点に注意してください。
- プッシュレバーを押し込んで上下させたときスムーズに動くこと。
 - 押し込んだプッシュレバーが元の位置に戻ること。
- ⑮ 精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水にぬらしたりしないでください。
誤作動等をおこす原因になります。
- ⑯ 工具本体、および蓄電池の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
蓄電池を取付けた場合に短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。
- ⑰ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
- 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。

⚠️注意

- ① ライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。
ライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。
- ② 蓄電池は確実に取付けてください。
確実にしないと、蓄電池が抜け落ちたりして、けがの原因になります。
- ③ スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
- ④ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てないでください。
- ⑤ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑥ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記①、②、③の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 作業中に機体に付いた切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 使用しないときに切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品（ねじ、釘など）とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑤ 蓄電池を電子レンジや高圧容器に入れるなど、過熱・高圧を与えないでください。
- ⑥ 蓄電池が液漏れしたり、異臭を発したりするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑦ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑧ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭・発熱・変色・変形、その他異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に相談してください。

⚠️ 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。

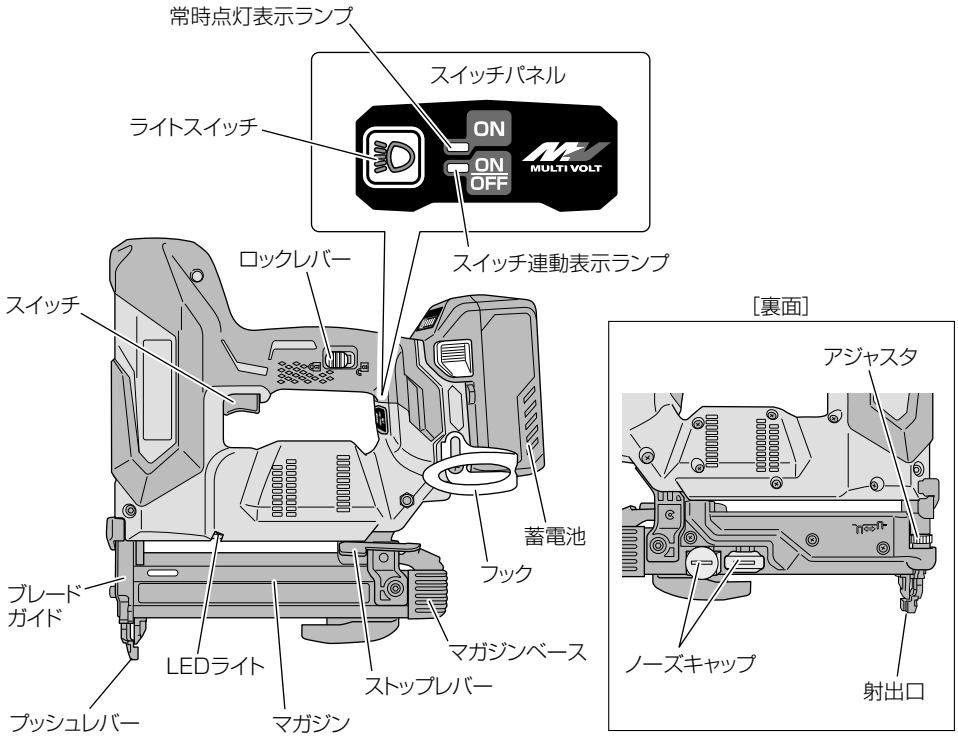


○ 新しい蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

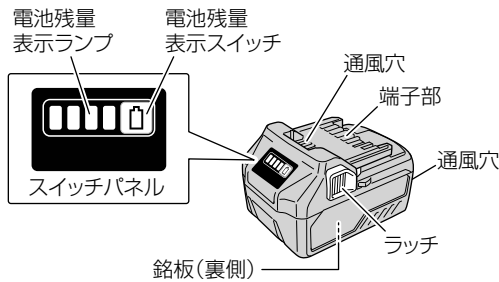
弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

各部の名称

工具本体

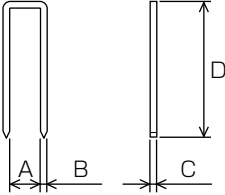


蓄電池



仕 様

1. 工具本体

形 名	N 3604DJ	N 3610DJ	
使用可能ステーブル	形状 (寸法単位: mm) 		
	A	3.7	10
	B	0.6	
	C	1.2	
	D	13、16、19、22、25	
ステーブルの装てん数	100本(1連)		
モーター	直流ブラシレスモーター		
工具本体寸法 全長×高さ×幅	270×255×83mm (BSL 36A18装着時)		
質量	2.8kg (BSL 36A18装着時)		
LEDライト	白色LED		
使用可能蓄電池	マルチボルトタイプ蓄電池		

2. 蓄電池

形 名	BSL 36A18	
種 類	円筒密閉形リチウムイオン電池	
電池電圧	36V/18V(工具本体により自動切替)	
容量	2.5Ah/5.0Ah(工具本体により自動切替)	
冷却	対応	
使用可能 コードレス製品	18V品: 使用可 36V品: マルチボルトタイプ蓄電池対応製品	
使用可能充電器	スライド式リチウムイオン電池対応充電器 UC 36xxx、UC 18xxxシリーズ	
残量表示ランプ	緑色LED	

標準付属品

品名・形名	仕様	XP	NNK
蓄電池 BSL 36A18 (本体装着)		1 個	—
充電器 ●取扱い方法は、充電器の取扱説明書を確認してください。		1 台	—
ノーズキャップ (A) [*]		1 個	1 個
ノーズキャップ (B) [*]		1 個	1 個
保護メガネ		1 個	1 個
収納ケース		1 個	1 個
電池カバー		1 個	—

※ 出荷時、工具本体の収納部に取付けてあります。(P.20「ノーズキャップの使い方」参照)

別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

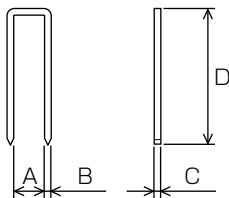
ステーブル

この機体は、下の表に示すステーブルが使用できます。ステーブルは約 100 本が 1 連に接着されています。

寸法はおおよその値を示しております。ステーブルはこのタッカをお買い上げの販売店でお求めください。

注 ステーブルは弊社指定のステーブルを使用してください。

指定以外のステーブルを使用するとステーブル詰まりすることがあり、故障の原因になります。



(寸法単位：mm)

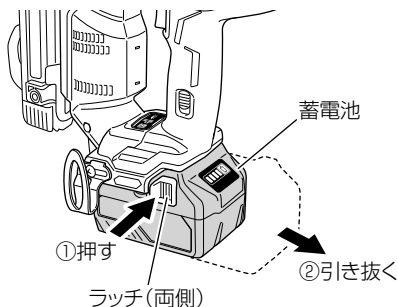
N 3604DJ					N 3610DJ				
形名	A	B	C	D	形名	A	B	C	D
B0413-2	3.7	0.6	1.2	13	B1013	10	0.6	1.2	13
B0416-2				16	B1016				16
B0419-2				19	B1019				19
B0419W2				19	B1025				25
B0419S2				19	B1025S				25
B0422-2				22					
B0422W2				22					
B0425				25					
B0425W				25					
B0425S				25					

- ・S はステンレスステーブル
- ・W はカラー (白) ステーブル

蓄電池の取りはずし・取付け

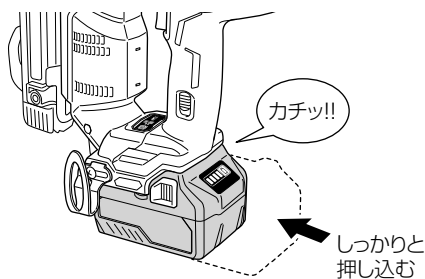
蓄電池を工具本体から取りはずすときは、両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。

取りはずすとき



蓄電池を取付けるときは、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。

取付けるとき



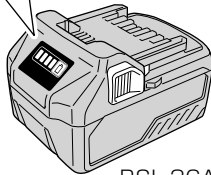
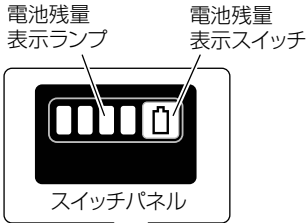
電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチを押してから、約3秒後にランプは消灯します。

電池残量表示は、使用環境、電池特性等で多少異なりますので目安として見てください。

また、残量表示機能のある製品側、および充電器側の残量表示と異なる場合があります。



BSL 36A18

ランプの点灯状態		電池残量
	点灯	75% 以上
		50% ~ 75% 未満
		25% ~ 50% 未満
		25% 未満
	点滅	0%
		高温のため出力停止 ^{※1}
		故障のため出力停止 ^{※2}

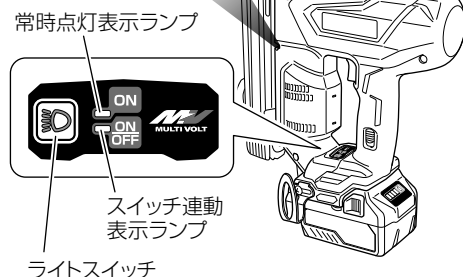
※1: 蓄電池を工具本体より取りはずし、十分に冷ましてください。

※2: 蓄電池の故障と考えられますので、お買い求めの販売店に相談してください。

LED ライトの使い方

電源スイッチが ON の状態でライトスイッチを押すと、LED ライトが点灯します。

また、ライトスイッチを押して LED ライトの点灯モードを切り替えることができます。



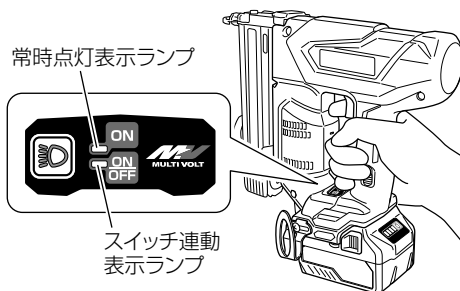
点灯モード	スイッチ連動	OFF	常時点灯
ランプの点灯状態			
状態	ブッシュレバーを押し付けたとき、またはスイッチを引いたとき点灯 (スイッチをはなしてから約 30 秒後に自動消灯)	消灯	点灯 (約 2 分後に自動消灯)

- 注**
- 常時点灯モードは、LED ライトの消し忘れによる蓄電池の消耗を防止するため、約 2 分経過すると自動で消灯します。
 - ライトのレンズ部に付着したごみは、柔らかい布などでふき取り、ライトのレンズ部に傷が付かないように注意してください。
ライトのレンズ部に傷が付くと、明るさが低下する原因になります。

警告シグナルについて

本製品は、工具本体の状態を検出する機能が付いており、作業中に各検出機能が作動すると、点灯モード表示ランプが以下のように点灯してお知らせします。

各検出機能が作動したときは、直ちにスイッチから指をはなし、対処方法に従ってください。



状態	表示ランプ	対処方法
電池電圧低下状態*	<p>緑色片側点滅</p>	蓄電池を充電してください。
過負荷状態	<p>赤色点滅</p> <p>(約 8 秒後、電源が切れます)</p>	蓄電池を抜き、P.27「保守・点検」に従い、大きな負荷となった原因（ブッシュレバーの溝に詰まったステーブル等）を取り除いてください。
その他	<p>その他の点滅</p>	故障の可能性があります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
高温状態	<p>LED ライト明暗点灯 + 緑色明暗点灯</p>	蓄電池および本体を十分に冷ましてください。
故障の可能性	<p>LED ライト点滅 + 赤色交互点滅</p> <p>(約 10 秒後、電源が切れます)</p>	続けて何度も起こる場合は故障の可能性があります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

* 低温状態のときは、蓄電池残量があっても「電池電圧低下」を検出する場合があります。

注 対処方法を実施しても改善しない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

フックの使い方

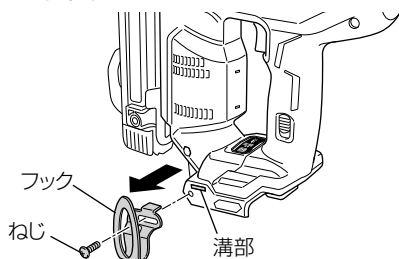
フックは、作業の合間に腰ベルトなどにつり下げる機能を持っています。左右に付け替えて使用することができます。

⚠️注意

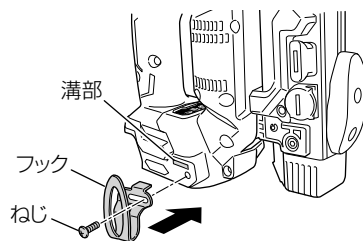
- フックを使用するときは、スイッチをロックし、蓄電池を工具本体から抜いてください。
- フックを使用するときは、機体が落下しないように、しっかりと掛けてください。
- フックはしっかりと取付けてください。

1 フックをはずす

プラスドライバーを使用してねじをはずします。

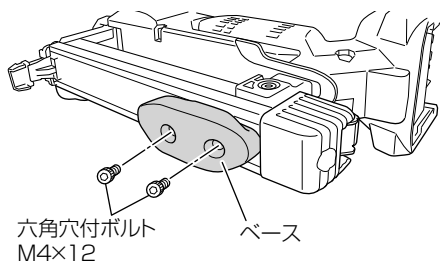


2 付け替えてねじを締付ける



ベースについて

ベースを取りはずして使用する場合は、六角棒スパナ 3 mm を使用して六角穴付ボルト M4 × 12 (2 本) をはずすと、ベースが取りはずせます。



ノーズキャップの使い方

化粧合板など柔らかい物への作業は、プッシュレバーの先端にノーズキャップを取付けます。

表面をプッシュレバーで傷付けるのを防止できます。

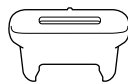
本製品には、2種類のノーズキャップが標準付属されています。用途に合わせて使用してください。

ノーズキャップ (A)



柔らかい材料への打ち込みに適しています。

ノーズキャップ (B)



凹凸のある天井材への打ち込みに適しています。

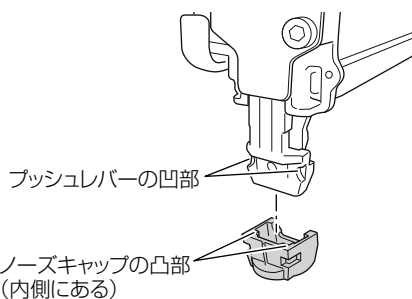
ノーズキャップの取付け・取りはずし

ノーズキャップはプッシュレバーに押し込むだけで取付けできます。

ノーズキャップの凸部が、プッシュレバーの凹部に合うように取付けてください。

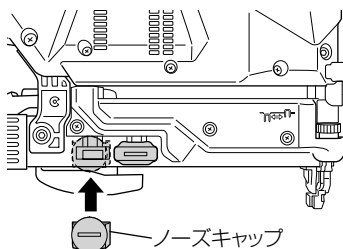
取りはずすときは、ノーズキャップを指で引いて、取りはずします。

取りはずしにくいときは、プッシュレバーのすき間にマイナスドライバーなどの細い棒を入れ、取りはずします。




ノーズキャップの保管


取りはずしたノーズキャップは、右図に示すように、マガジンにさし込んで保管してください。

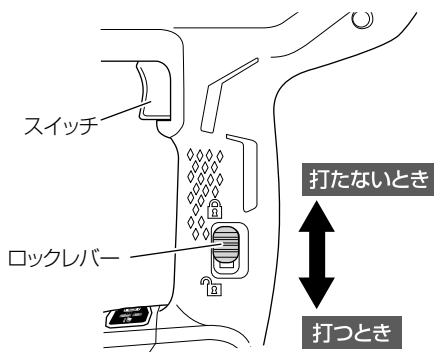


スイッチのロック機構について

この機体には、スイッチを引けなくするロック機構が付いています。

ステーブルを打たないときは、ロックレバーを「」の位置にしてください。

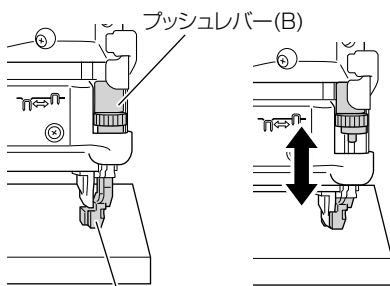
ステーブルを打つときは、ロックレバーをスライドして「」の位置にしてください。



プッシュレバーの作動確認

プッシュレバーを材料に押し当てて機体を上下させ、プッシュレバーとプッシュレバー (B) がスムーズに摺動することを確認してください。

動きが悪いときは、プッシュレバーの摺動部を清掃してください。



プッシュレバーを押し当てて作動確認

ステーブルの装てん

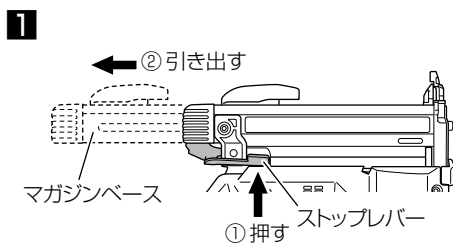
⚠ 注意

ステーブルの装てん・抜き取りの際は、スイッチをロックして、蓄電池を工具本体から抜いてください。

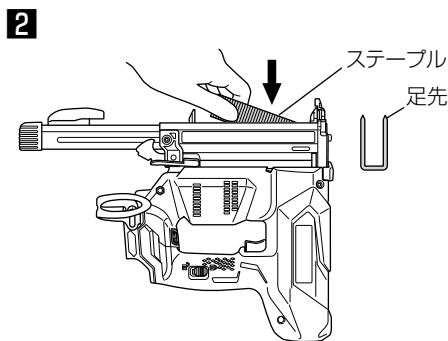
用途に合ったステーブルを装てんしてください。(P.14「別売部品」参照)

- 注**
- ステーブルは5本以上連結された物を使用してください。
 - 長さの違うステーブルを同時に装てんしないでください。
 - 連結本数の少ないステーブルを、一度に数連装てんしないでください。ステーブル詰まりなど、不具合の原因になります。
 - 本機は13mmから25mmまでの長さのステーブルが使用できます。いずれの長さのステーブルも足先をマガジン下部の溝底に突き当ててください。

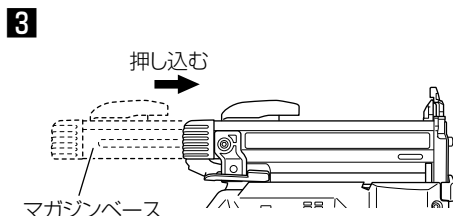
- 1** ストップレバーを押し、マガジンベースを後ろへ引き出します。



- 2** ステーブルの足先を上にしてマガジンの中に入れます。



- 3** マガジンベースを元どおり押し込むと、ストップレバーでロックされます。



- 注** マガジンベースは静かに閉めてください。強く閉めると、ステーブルの連結が変形して、マガジンベースが閉まらないことがあります。

ステーブルの打ち方

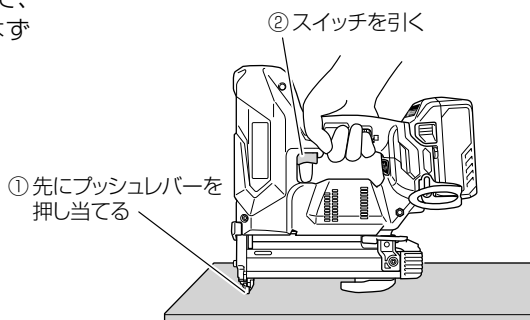
この機体は、打ち込み対象物によって、効果的な使い方ができるように「単発打ち」と「連続打ち」が使い分けできる機構を装備しています。

● 単発打ち

単発打ちは、仕上げを重視する場合や狙った所にステーブルを打つ場合に使用します。

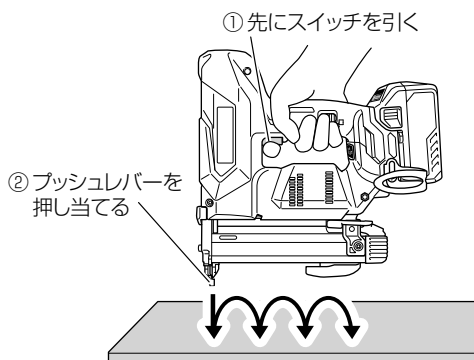
打ち込む所にプッシュレバーを押し当て、スイッチを引くと、ステーブルを一本ずつ打つことができます。

注 狙った所にステーブルを打つ場合、または仕上げを重視する場合は、単発打ちで作業してください。



● 連続打ち

連続打ちは、はじめにスイッチを引いておき、その後、ステーブルを打つ所に、プッシュレバーを「トン・トン・トン」と押し当てれば、連続的に作業ができます。



注 単発打ちでスイッチを引いたまま、再度プッシュレバーをステーブル打ちする所に押し当ててもステーブルは発射されません。続けて連続打ちする場合は、スイッチから指を一度はなしてから、連続打ちの操作をしてください。

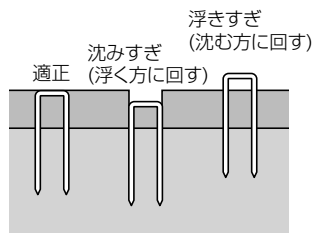
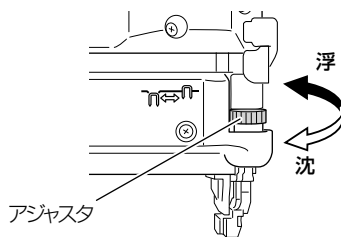
打ち込み深さの調整

アジャスタを回すことにより、打ち込み深さを調整できます。

試し打ちし、ステープルが沈みすぎるときは、アジャスタを浮かす方（マーク ↑）に回します。

ステープルの頭が浮くときは、アジャスタを沈む方（マーク ↓）に回します。

アジャスタは、1回転させるごとに0.75 mm 移動します。



空打ち防止機構について

この機体はステープルがなくなった後の空打ちを防ぐため、空打ち防止機構を備えています。

ステープルがなくなると、機体が作動しなくなります。

注 マガジンベースを引き出すと空打ち防止機構が無効になります。

空打ちを続けると各部に影響を与えるので、不要な空打ちをしないよう注意してください。

ステープルの取扱い方

注 ●ステープルは、ていねいに扱ってください。

落とすと、連結部が切れることがあり、そのままの状態で使用するとステープル送り不良により、空打ち、ステープル詰まりなどが発生することがあります。連結部が切れたステープルは使用しないでください。

●ステープルは長時間外気や直射日光にさらさないでください。

さびの発生や、連結部に不具合が生じる場合があります。ステープル梱包箱などに入れて保管してください。

ステープルを打つ

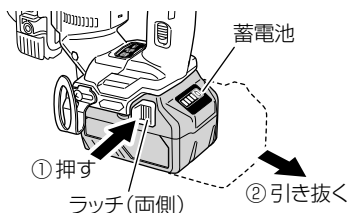
- 建築、新建材の固定、建築部材製造
- 吸音ボード、壁下石こうボード、化粧合板（プリント合板）、断熱材張り作業
- 家具の製造

警告

- スイッチを引くときは、他の指でプッシュレバーなどを固定しないでください。誤ってステープルが発射した場合、けがの原因になります。
- 一度打ったステープルの上に、再度ステープルを打つことはしないでください。

1 蓄電池を取りはずす

誤操作防止のため、蓄電池を工具本体より抜いてください。



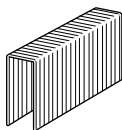
3 ノーズキャップを取付ける

必要に応じてノーズキャップを取付けてください。
（P.20「ノーズキャップの使い方」参照）



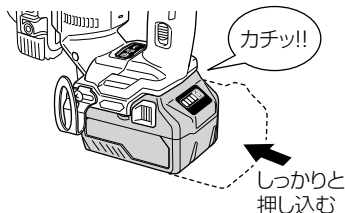
2 ステープルを装てんする

作業の用途に合った寸法のステープルをマガジンに装てんしてください。
（P.22「ステープルの装てん」参照）



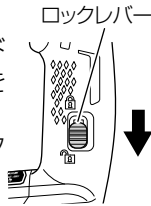
4 蓄電池を取付ける

下図の向きで「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



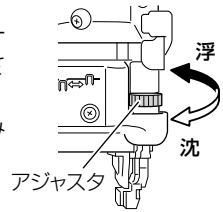
5 ロックレバーのロックを解除する

ロックレバーをスライドして、スイッチのロックを解除してください。
(P.21「スイッチのロック機構について」参照)



7 ステープルを打つ

必要に応じてステープルの打ち込み深さを調整します。
(P.24「打ち込み深さの調整」参照)



- 注**
- 材料のかたさ・厚さ・組み合わせによってはステープルが曲がる場合や材料が割れる場合がありますので、試し打ちをしてから使用してください。
 - 打ち込む所にプッシュレバーをしっかり押し当てないと、ステープルが浮く場合があります。

6 打ち方を選択する

作業に応じて「単発打ち」「連続打ち」を選択します。
(P.23「ステープルの打ち方」参照)

安全装置について

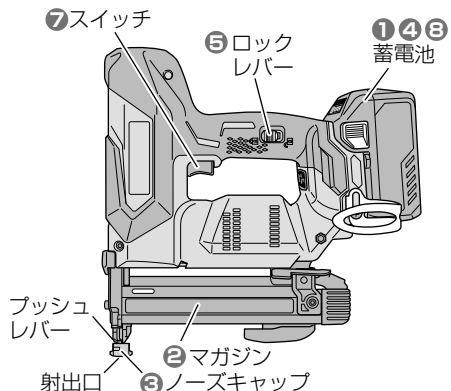
本製品は、スイッチを引いただけのとき、またはプッシュレバーを打ち込み対象物に押し当てただけでは、ステープルは発射しません。

これは、誤ってスイッチを引いたり、プッシュレバーを押し当てただけでステープルが発射されることを防ぐためです。

また、プッシュレバーを押し当てたまま4秒以内にスイッチを引かない場合、またはスイッチを引いたまま4秒以内にプッシュレバーを押し当てない場合は打てません。このときは、対象物からプッシュレバー、またはスイッチをはなしてください。

8 作業を終了する

作業後は、スイッチをロックして、蓄電池を工具本体から抜いてください。さらに、ステープルを全部抜き取ってください。



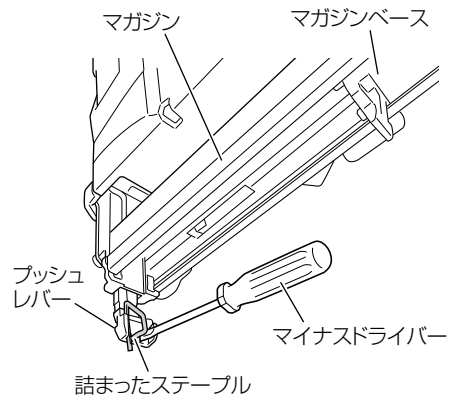
保守・点検

⚠ 警告

- ステープルが詰まったときは、スイッチをロックし、蓄電池を工具体体から抜いて使用を中断してください。ステープルが詰まった状態で機体を作動させないでください。
- ステープル詰まりを直すときや保守・点検の際は、スイッチをロックし、蓄電池を工具体体から抜いてステープルを全部抜き取ってください。
- 損傷したり、はずれていたりする部品や、さび付きなどで、正常に作動しない部品がないことを点検してください。

● ステープル詰まりの直し方

- ① ストップレバーを押し、マガジンベースを引き出し、マガジンに入っているステープルを全部抜きます。
- ② プッシュレバーの溝に詰まったステープル、接着剤、破片、木くずなどをマイナスドライバーなどで取り除きます。
- ③ プッシュレバーがスムーズに摺動することを確認してください。
(P.21「プッシュレバーの作動確認」参照)



注 ステープル詰まりを直した後は、ステープルを装着し、試し打ちしてから使用してください。

● マガジンの点検

マガジン内部を時々掃除してください。

マガジンベースを引き出して、溝の中にたまったステープルの接着剤、ごみ、木くずなどを取り除いてください。

注 マガジンの内部が汚れると、ステープルの動きが悪くなり、空打ちが発生しやすくなります。

● 機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

● 清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

● 機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が 50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
 - 軒先など雨が掛かる場所、湿気のある場所
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

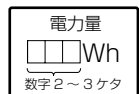
● リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠ 警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が100Whを超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

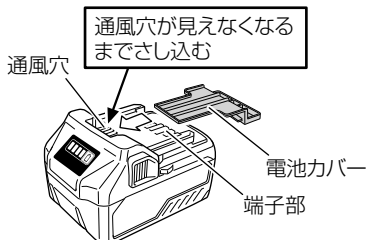


● リチウムイオン電池の保管について

⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡(ショート)して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡(ショート)するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



- 注** リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間(3か月以上)保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなる、または充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命が尽きたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 **0120-20-8822**

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認い
ただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>